

時代	年代	群馬の歴史	場所	日本の歴史
弥生	200年	浅間山大噴火		239年 卑弥呼が魏から親魏倭王の称号を受ける (魏志倭人伝) 奈良県の箸墓古墳を始めとする大型前方後円墳が出現し、古墳時代が始まる (3世紀中頃から後半)
	300年代	古墳の築造が始まる 石田川式の土器文化が成立、経済的社会が成立(毛の国の成立)(4世紀前半~中頃)	前橋天神山古墳 (4世紀前半) 前橋八幡山古墳	
古墳	400年代	竪穴式石室の前方後円墳が各地に築造される 上毛野地域の力が強くなる *毛の国を上毛野国と下毛野国に分割 (5世紀初頭) *上毛野国を一円的に支配していた氏族は上毛野氏とみられる	元島名将軍塚古墳 (4世紀後半) 浅間山古墳 白石稲荷山古墳 (4世紀後半~5世紀前半) 太田天神山古墳	391年 朝鮮に出兵し、百済、新羅を服属させる (広開土王碑) 400年 高句麗と交戦し、敗北、新羅より撤退 ヤマト王権の東国への進出が始まる 413年 倭王が東晋に朝貢  *渡来人が文物を伝える 鉄製の農具が現れる 日本に馬が入ってくる(5世紀初めから中頃)
	500年代	榛名山が二度噴火する(6世紀前半) 横穴式石室の前方後円墳の築造が盛んとなる	保渡田古墳群 三ツ寺I遺跡 黒井峯遺跡 築瀬二子塚古墳(安中) 大室古墳群 七輿山古墳 綿貫観音山古墳 (570年頃の築造)	478年 倭王武(雄略天皇)が南朝の宋に使いを送る 「東は毛人五十五国を制す」と記す
	535年	上毛野国の緑野に屯倉が設置される	観音塚古墳(6世紀末)	527年 磐井の乱(古墳時代の内乱) 552年 百済より仏教が伝わる(538年説あり) 仏像礼拝の論争が起きる(崇仏論争) 554年 倭、百済両軍、新羅と戦う(百済王敗死) 592年 推古天皇即位(古墳時代が終焉) 593年 聖徳太子が推古天皇の摂政となる 594年 飛鳥寺が完成

時代	年代	群馬の歴史	場所	日本の歴史
飛鳥	600年代	前方後円墳がつかられなくなり、埴輪も激減する 前橋総社地区に大型方墳が三基相次いで築造される	総社古墳群	603年 聖徳太子が冠位十二階を制定する（律令制度の基礎）
	650年以降	仏教文化の波及 古代寺院の建立が始まる		604年 聖徳太子が17条の憲法を制定する
			607年 小野妹子を隋に遣わす（遣隋使） 石舞台古墳がつくられる	645年 中大兄皇子、中臣鎌足が蘇我入鹿を暗殺（大化の改新始まる）
	681年	山上碑が建てられる 上毛野氏三千が天武天皇の臣下の筆頭として活躍、朝臣の姓を賜る	山王廃寺	646年 大化の改新の詔を出す
奈良	700年代	東山道駅路が敷かれ、群馬郡や新田郡が置かれる		652年 班田収授法の実施（公地公民制）
	700年頃			663年 倭軍・百濟軍、唐・新羅軍と白村江で戦い、大敗
	711年	新たに多胡郡が設けられ、多胡碑が建てられる		668年 中大兄皇子が即位する（天智天皇）
	713年	国名が上毛野国から上野国となる		672年 壬申の乱が起こる
	726年	金井沢碑が建てられる		673年 大海人皇子が即位する（天武天皇） *高松塚古墳がつくられる
	741年	上野国分寺造営へ		701年 大宝律令を定める（律令国家の成立）
			710年 都を奈良の平城京に移す	
			712年 太安万侶が「古事記」を編纂する	
			720年 舎人親王ら「日本書紀」をつくる	
			741年 国分寺と国分尼寺建立の詔を出す	